



浄土宗開宗850年 慶讃事業のご紹介



法然上人

浄土宗

開宗850年

お念佛からはじまる幸せ

令和6年

我、浄土宗を立つる心は、

凡夫の報土に生まるることを、示さむためなり

(『法然上人行状絵図』第6巻第6段)

【現代語訳】

私が浄土宗を立てた意趣は凡夫が阿弥陀仏の報土(西方極楽浄土)に往生できることを示すためである

浄土宗開宗の意図を法然上人はそう言い切ります。

煩悩を断ち切れない、愚かで罪深い我々凡夫こそが救われなければならない、とやすらぎに満ちあふれ、あらゆる苦しみを離れた世界——極楽浄土

私たち浄土宗は、その極楽への「万人平等往生」を説く法然上人の理念を重く尊び、どんなに時代が移り変わろうとも色褪せることのない念仏のみ教えを、総本山、大本山はじめ全国7,000カ寺の浄土宗寺院が一丸となり、広く、多くの方々にお伝えしてまいります。

お念佛からはじまる幸せ

浄土宗開宗850年キャッチコピー

人はだれもが、それぞれに「幸せ」を求めています。

しかし、私たちが「これが幸せ」と思うもの、感じることは、いつまでも続くとは限らない、移ろいゆく「幸せ」であるかもしれません。

人生はままならないものであり、自分の願いどおりにならないという点において「すべては苦しみである」と説くのが仏教の真理。

そのなかで生きる私たちが本当に望むべきは、消えてしまうかもしれない「はかなさ」を超えた、「変わることのない幸せ」のはずです。

念仏をとなえること——

それは「信じること」であり、「祈ること」であり、そこに「気づき」がもたらされます。

阿弥陀仏、先だった人たち……

あなたの幸せを願い、やさしく見守り続けてくださっている方々の思いに気づき、手を合わせ、念仏をとなえる。

それがほんとうの幸せをかなえるための第一歩。

お念佛から、あなたの幸せがはじまります。

浄土宗開宗850年慶讃事業全体像 21事業の推進

劈頭宣言の「愚者の自覚」から生じる「教師の資質向上」を主眼とし、研修会の提供及び多様化している教師の生活形態に合わせた自己研鑽の仕組みを構築し、もって社会から信頼される人材を創出します

教勢拡充事業

“浄土宗”“法然上人”といったキーワードをわかりやすく、親しみやすい事業を通してお届けします

資質向上

4事業

檀信徒教化

4事業

浄土宗の檀信徒や有縁の方を中心に、一層の信仰を深める事業を展開します

教化伝道事業

浄土宗
開宗850年
慶讃事業

大衆教化

8事業

文化振興

5事業

浄土宗の文化的財産を活用、発信し、その素晴らしさや良さを多くの方に知っていただきつつ、浄土宗文化の存在感をより高める事業です。



浄土宗開宗850年シンボルマーク

「お念佛からはじまる幸せ」を象徴するシンボルマークを全国公募し、応募総数601点の作品の中から選ばれたのがこの作品（最優秀作品：神奈川県・梶塚盛利氏）です。

作品コンセプトは①他宗との違いを明確にする、②法然上人の存在を強く表現する、③シンプルな法然上人のシルエット、④緑は修行の地・比叡山、開宗＝若葉をイメージしています。



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
令和6年

浄土宗開宗850年慶讃事業 21事業のご紹介



- | | |
|-------------------------------------------|------------------------------|
| 1 お寺の未来ミーティング …………… P04
—僧侶・寺族の研鑽のために— | 11 法然フォーラム …………… P10 |
| 2 新命住職研修会 …………… P05 | 12 宗内関係団体連携支援 …………… P10 |
| 3 研修ICT化推進 …………… P05 | 13 法要開筵 …………… P11 |
| 4 適正な会計処理支援 …………… P06
—全寺院達成を目指して— | 14 地区・教区教化推進支援 …………… P11 |
| 5 そうだ浄土宗寺院を巡ろう …………… P06
—浄土宗寺院特別大公開— | 15 青少年育成推進 …………… P12 |
| 6 広報活動 …………… P07 | 16 法灯リレー …………… P12 |
| 7 令和版結縁交名「念佛署名運動」 …………… P08 | 17 増上寺三大蔵経電子化 …………… P13 |
| 8 「You Tube 公式チャンネル」推進 …………… P08 | 18 浄土宗聖典電子化 …………… P13 |
| 9 BSテレビ特番(歴史紀行)制作 …………… P09 | 19 浄土宗高僧名号展 …………… P14 |
| 10 地上波テレビ番組制作 …………… P09 | 20 源智上人造立阿弥陀如来立像安置 …………… P14 |
| | 21 特別展「法然と極楽浄土」 …………… P15 |

[令和5年9月1日現在の内容です]

開宗の御心の意義を正しく受け止め、現代社会における「光り輝く浄土宗の実現」を目指す

1 お寺の未来ミーティング —僧侶・寺族の研鑽のために—

教勢拡充事業

資質向上

担当：教学部

目的概要 法然上人立教開宗の御心の意義を正しく受け止め、寺院に住する者として自己を省みるとともに、寺院の未来について話し合います。僧侶・寺族の意識改革と資質向上を目指し、全47教区で開催しています。

① 講義「浄土宗開宗の御心 お念佛からはじまる幸せ」

浄土宗総合研究所研究員による「浄土宗開宗の御心 お念佛からはじまる幸せ」の解説。

教義的な理解について、資料をもとにわかりやすく説明します。

② グループワーク「“てら活って何?”」「寺院の未来について語り合おう」

浄土宗総合研究所研究員の進行のもと、宗勢調査からみえる教区の現状について再確認。また、各種アンケート調査から、現代社会・檀信徒が寺院・僧侶に求めるものを分析し解説します。

上記過程を経て、「“寺院生活者だからこそできること”を考え、従来の教化活動をどのように社会に即応する形に発展させられるのか」について話し合い、今後の寺院運営を考える上での意識改革を図ります。



2 新命住職研修会

教勢拡充事業

資質向上

担当：総務部

目的概要 浄土宗教師の生涯において住職認証は大きな節目であります。従前より「新命住職認証奉告式」を年1回開催しておりましたが、開宗850年を機に奉告式と併修して、住職として必要な研修を実施する内容で年4回開催しています。研修は、伝統仏教教団や寺院に関する一般のアンケート結果から、寺院に期待されている役割の解説や宗教法人法、浄土宗宗門法制等の資料を通じて、宗教法人の代表役員として果たすべき社会的責任、現代に即応した住職としての責務を全うするための心構えを習得していただいています。

開催

総本山知恩院・大本山増上寺を会場として年4回開催

対象

研修会開催の前年度あるいは当年度（2カ月前まで）に住職認証を受けた教師対象の方には、直接ご案内をお届けします。

記念品

ご参加いただいた方には、お付添いの方も含め、開宗850年事業限定の記念品を用意しております。



新命住職研修会の様子



記念品

遠方寺院（教師）の距離的ハンディを解消し、オンラインの特性を最大限に活用

3 研修ICT化推進

教勢拡充事業

資質向上

担当：教学部

目的概要 研修体制の改革を主軸に捉え、高度情報通信技術を活用した体制を確立し、遠方寺院（教師）の距離的ハンディを解消します。公平な宗務行政サービスを楽しめる環境整備を目的にした事業です。

宗内研修のオンライン化

現在、社会的なオンライン化が加速する中、自身が必要とする知識をライフスタイルに合わせて学べる体制を発信します。また、オンラインの特性を活かした従来にはない研修を構築します。

A. 公開型学習 (Distance Learning)

Distance Learning (ディスタンスラーニング) とは、通信回線やコンピューター、AV 機器を用いて遠隔地でも教育機関の講義受講を可能とするものです。令和2年度に本宗が導入したZoomにより、自坊において様々な（宗主催・各種団体主催の）研修会・講習会を受講できる体制を整えます。

B. 自習型学習 (Web Learning)

Web Learning (ウェブラーニング) とは、Webブラウザやインターネット上の情報・技術を利用して、学習者がパソコンやスマートフォン、タブレット端末で教材にアクセスし、自分のペースで学習できるシステムです。教化研修会館多目的ホールを撮影スタジオとして作成した動画教材を教化研修会館HPにアップロードすることで、学習者が学びたい時や急を要する時に、必要とする情報を、時間と場所を問わず入手することができるような体制を構築します。



撮影スタジオ(浄土宗教化研修会館多目的ホール内)

4 適正な会計処理支援 —全寺院達成を目指して—

目的概要 各寺院の「寺院規則」には、予算・決算を行うことが定められています。しかしながら、令和元年第7回浄土宗宗勢調査報告書では、35.9%が「収支決算書を作成していない」と回答しています。そこで、本事業では全寺院が適正な会計処理を行い、収支計算書等の必要書類を作成・提出・完備し、公益法人としての適切な管理運営によって社会的責任を果たし、信頼向上を図れるように支援します。

本会計ソフトにおいて出力できる書類は、財産目録および収支計算書です。そのために、現預金帳面画面から、または簡易な入力画面から日々の収入・支出を入力することで、自動的に仕訳を起こし、仕訳日記帳や現預金出納簿を完備できます。なお、勘定科目は文化庁指導基準に準じ、科目ごとのガイドを用意し、使用しやすい簡易版会計ソフトとしています。

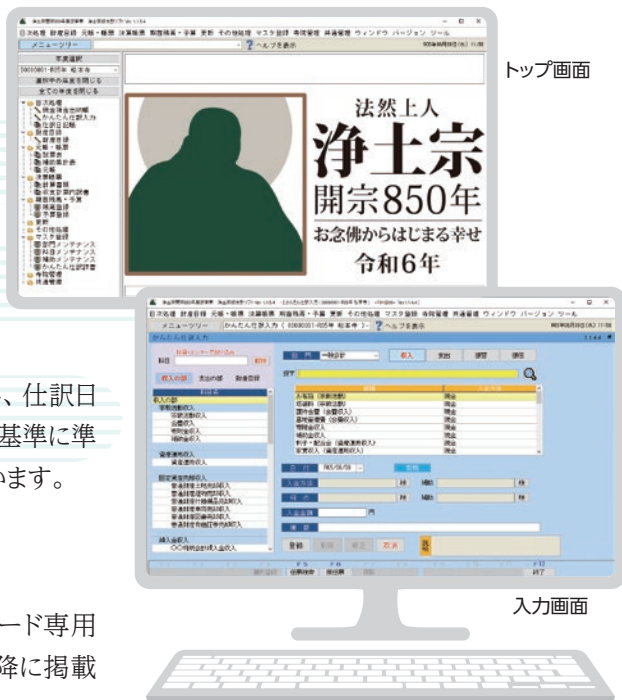
■提供方法は次の2通りです。

① ホームページからダウンロード

「浄土宗開宗850年特設サイト(ホームページ)」にダウンロード専用ページを設け、『浄土宗宗報』令和5年5月号または、8月号以降に掲載のパスワードを入力の上、ダウンロードします。

② 郵送

浄土宗総務部へ連絡し、「浄土宗版会計ソフト」郵送希望の旨を伝えていただきましたら、浄土宗総務部より発送します。



トップ画面

入力画面

「開かれたお寺」「地域とともに生きるお寺」を目指す「てらギャラ」

5 そうだ浄土宗寺院を巡ろう —浄土宗寺院特別大公開—

目的概要 現在、浄土宗の寺院は全国に約7000カ寺にのぼります。ただし、過疎化や核家族化に伴い、檀家の減少や檀信徒の形態が様変わりしつつあり、次代に向けた寺院運営の変革が求められています。また、一般の方に対して寺院を公開している寺院は少なく、檀信徒以外の人々が寺院内に足を踏み入れる機会も稀であり、敷居が高いと思われるがちです。そこで、浄土宗開宗850年を機に、「開かれたお寺」「地域とともに生きるお寺」を目指し、一般の方々気軽に浄土宗寺院に足を運んでいただけるように、「スマホによる寺院巡り専用アプリ」を開発。さらに、浄土宗寺院特別大公開事業「てらギャラ」の実施をご提案します。

● 浄土宗寺院特別大公開事業「てらギャラ」

- 教区が主体となり開催期間(指定月間)を設定して開催。
※教区設定期間以外でも各寺院での単独開催も可能。
- 開催は、組単位・部単位等の数カ寺が合同で、あるいは、一寺院単独で、期日を定め寺院を公開。
- 開催(助成金交付)条件について
 - ① 2日以上期間で公開
 - ② のぼり・ポスターの設置(本宗提供)
 - ③ 自由に本堂に上がり、お参りができる状態であること
 - ④ 令和版結縁交名の設置(本宗提供)
 - ⑤ 芳名帳の設置



- 助成金交付について…参画寺院には1カ寺2万円(複数寺院による合同開催の場合は上限10万円)、教区には1会所1万円の助成金を交付します。
- 教区には教区内寺院の実施情報の広報や実施期間中の開催サポートをお願いします。
- 実施寺院の情報は、アプリ内で紹介するとともに、浄土宗のホームページやSNSを利用し広報。
- (任意)各寺院の企画でイベント実施。
※コンテンツは、実施要項(寺院用)において紹介するとともに本宗からも提供。

6 広報活動

目的概要

「法然上人の御心」を広く開示できる好機と捉え、時期・対象・効果を徹底分析したメディア広告からロゴマーク、キャッチコピーまで多彩な広報展開を実施します。

教線拡充・大衆教化

- 製作物（役職者名刺製作・ステッカー）
- ホームページ開宗850年特設サイト開設【寺院及び檀信徒への広報含む】
- 旅行雑誌「まっふる」特別号『旅でめぐる法然上人 一浄土宗開宗850年一』発刊（令和5年9月11日）
- 交通広告（主要都市駅における広告）
- メディア広告（新聞掲載・新聞社等とのタイアップ（事業の採録掲載等））
- プレスリリース（記者会見・報道機関の有効的活用）
- Web媒体及び雑誌等の広告
- 「浄土宗と徳川家」パンフレット製作
- SNSの活用【X（旧Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube】
- 鼎談企画 読売新聞全国版朝刊（令和5年9月30日）掲載予定
- 寺院及び檀信徒への広報含む



教化伝道・檀信徒教化

- シンボル・ロゴマーク、キャッチコピーの宗内外への展開（『宗報・和合』・WEB・ポスター等）
- 全体事業に関するリーフレットの製作配布
- ポスター製作（寺院掲示用）
- 浄土宗開宗850年オリジナル菓子の提携（浄土宗一般寺院へ向けて）
- 懸垂幕製作（寺院掲示用）
- 事業冊子・記録誌の作成



● スマホによる寺院巡りアプリ

- 寺院検索（登録寺院の中から、一般ユーザーの目的に応じた寺院検索が可能）。
- 動の一環での寺院参拝企画等に期間限定ポイントを付与する等、他の事業との連携）。
- GPS機能を用いた寺院巡り（目的の寺院が決まったら、GPS機能を用い、アプリ内のマップにおいて目的の寺院まで案内可能）。
- スマホ御朱印の実施（スマホ内で授与可能となるデジタルの御朱印機能。授与にあたっては、通常の御朱印と同様で、まずはスマホ用の御朱印帳を購入した上で、寺院に参拝することが必須）。
- スタンプラリー機能（寺院参拝時に寺院スタンプを取得可能。集めたスタンプはスタンプ一覧画面で確認可能）。
- フォトコンテスト（スマホアプリにて撮影した写真で年に2回を実施予定）。
- 参拝ポイント【参礼寺（まいれいじ）ポイント】機能（寺院参拝時にポイント付与し、貯まったポイントに応じ記念品と交換。基本、1回の参拝につき、1ポイントとするが、過疎地域や離島地域など参拝しにくい寺院にはプラスポイントを設定。さらには、特別大公開実施寺院、ランダム抽選での毎月のポイントUP寺院、教区教化活
- 撮影した写真のアプリ内保存/公開。
- QRコード読み取り機能（寺院の状況に応じた場所等にQRコードを掲示し、QRコードを読み取ることでプラスポイント付与）。
- 浄土宗寺院特別大公開「てらギャラ」等のイベント実施寺院公開機能。



アプリダウンロード
はこちら

7 令和版結縁交名「念仏署名運動」

教勢拡充事業

大衆教化

担当：総務部

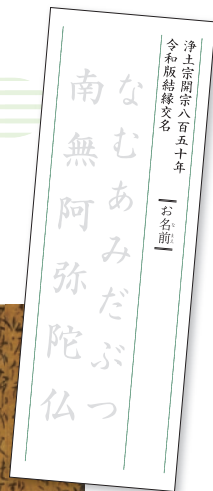
目的概要 本事業は法然上人のみ教えが、後1千年まで継承されることを願い、念仏普及の象徴たる「源智上人造立阿弥陀如来立像像内納入品 念仏結縁交名」にならい、本宗教師ならびに寺族、檀信徒その他宗門関係者のみならず、これまで念仏結縁なされていない一般の方など、多くの方々からの署名を集めて阿弥陀如来像に奉納いたします。

源智上人は師である宗祖法然上人の一周忌にあたって「源智上人造立阿弥陀如来立像」を造立され、この像内には、法然上人の恩徳に対する「真の報謝である」として、約4万6千人もの人々が念仏と結縁を結ばれた証（結縁交名）を奉納されました。

令和6年に浄土宗開宗850年を迎える今、現代に生きる我々が法然上人の恩徳に対する「真報謝」の想いを体現するため、この結縁交名に名を連ねる思いで多くの署名を集めようとするものです。



源智上人造立阿弥陀如来立像像内納入品 念仏結縁交名



動画配信を通じて法然上人の御心を現代人の心に届ける

8 「YouTube 公式チャンネル」推進

教勢拡充事業

大衆教化

担当：社会部

目的概要 より多くの人々に法然上人の御心に触れていただく機会として、現在展開中のYouTube公式チャンネル浄土宗のコンテンツ充実を図っていますが、この中で立教開宗の意義を示し、“浄土宗”“寺院”“念仏”法然上人”といったキーワードを、さらに広く深く現代人の心に浸透させていくことを企図しています。本事業では広報対象を一般大衆に置き、法然上人立教開宗850年の佳辰に触れる窓口となるべく、新たな動画コンテンツを制作し、多彩に発信していきます。



YouTube  公式チャンネル浄土宗



コンテンツ

① 浄土宗の総本山、大本山を紹介『浄土宗からのやすみなさい』

コンセプト 既存動画との「差別化」を果たすため、新規ユーザー獲得に資する動画コンテンツを想定。働き盛りの世代が日常的に閲覧している「睡眠導入動画」を制作し、話題化を図り、総本山、大本山の日常をノーナレーションの圧倒的な日常感で演出し、本山の魅力を発信します。

② 法然上人ご霊場・ご遺跡巡り動画『法然上人の足跡をたどる』

コンセプト 法然上人のご生涯をなぞり、各所の逸話や上人のお気持ちにふれていただくことで、特に浄土宗について興味を持っていただいた方や、法然上人をより詳しく知りたい方の需要を満たし、より浄土宗や上人のみ教えについて学んでいただく契機とします。

③ 浄土宗開宗850年慶讃法要開筵記録

コンセプト 総本山、大本山の開宗850年慶讃法要等を「YouTube 公式チャンネル浄土宗」で公開し、広く一般の方々へ向けた周知を図るとともに、歴史的映像として記録していく企画です。

9 BSテレビ特番(歴史紀行)制作

教勢拡充事業

大衆教化

担当：教学部

目的概要 俳優・田辺桃子さんが旅人として、法然上人ゆかりの地をめぐる1時間の歴史紀行番組。TBSテレビ「世界遺産」のカメラクルーが撮影する美しい映像とともに、法然上人が歩んだ幼少期からの生涯に迫ります。和歌「月かげの いたらぬさとはなけれどもながむる人の 心にぞすむ」は、どんな想いで詠まれたのでしょうか。ぜひご覧ください。

タイトル 「田辺桃子がゆく 月あかりをもとめて
～法然850年の想ひ～」

放送局 BS-TBS

放送枠 令和5年9月30日(土) 午後1時から(1時間番組)

旅人 田辺桃子

ナレーション 田辺桃子 小市慢太郎



DVD化

取材VTRを再編集し、見るだけで心の癒しとなる映像美を集結させたオリジナルDVDを制作します。

10 地上波テレビ番組制作

教勢拡充事業

大衆教化

担当：教学部

目的概要 実際の浄土宗寺院を舞台に、衣装・所作など浄土宗が監修協力したMBS毎日放送の連続ドラマ(全6話)。卒業後の進路に悩む女子高生の下白石麦は、住職であった亡き祖父の葬儀でお寺の危機を知ります。麦は住職になりたてのイケメン幼なじみ・磯野柊とともにお寺の再建に乗り出すが……。地上波放送のない地域でもTVerなどで視聴可能。ぜひご覧ください。

タイトル 「女子高生、僧になる。」

放送局 MBS 毎日放送

放送時期 令和5年9月17日深夜放送開始予定

放送地域 関西圏内

ネット全国配信(TVer)「MBS動画イズム」で放送後、約1週間見逃し配信

出演 畑芽育 奥野壮



関西以外の放送局やWEBでの配信は、番組HPをチェック



二次的展開

インターネットの動画プラットフォームで複数年に亘り配信



11 法然フォーラム

教勢拡充事業

大衆教化

担当：企画調整室

目的概要 深刻化する紛争、疫病、自然災害…。世界の平穏が大きく揺らぐ時代の中で、あらためて「幸せとは何か」を考え、互いに向き合いたい。全国の主要都市で、私の幸せ、みんなの幸せ、これからの幸せの在り方について語りあう集いです。

■ 今後の開催予定 (内容は変更になる可能性があります)

第5回 (札幌)

日時 令和5年 10月31日 (火) 18時30分開演

会場 道新ホール (札幌市)

出演 ヤマザキマリ (漫画家・文筆家)、立川談慶 (落語家) ほか

第6回 (名古屋)

日時 令和5年 11月28日 (火) 18時30分開演

会場 三井住友海上しらかわホール (名古屋市)

出演 尾木直樹 (教育評論家)、廣津留すみれ (ヴァイオリニスト) ほか

第7回 (広島)

日時 令和6年 4月30日 (火) 18時30分開演

会場 広島市文化創造センター (広島市)

出演 山中伸弥 (京都大学iPS細胞研究所 名誉所長)、
西村宏堂 (浄土宗僧侶・メイクアップアーティスト) ほか

【各回】司会 笑い飯・哲夫 (漫才師)

【各回】コメンテーター 戸松義晴 (浄土宗総合研究所 副所長)



■ これまでの開催報告

こちらからご覧いただけます →



- 第1回 (京都) 令和4年10月11日 (火)
山極壽一・三浦瑠麗・稲田ズイキ
- 第2回 (東京) 令和4年11月14日 (月)
五木寛之・田中優子・井上広法
- 第3回 (仙台) 令和5年 5月16日 (火)
古市憲寿・小川さやか・大江田紘義
- 第4回 (福岡) 令和5年 6月 6日 (火)
モーリーロバートソン・俵万智・吉田武士

法然フォーラムに関するお問い合わせ・申込先

法然フォーラム事務局 〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-2 日本コンベンションサービス内
Eメール honen@convention.co.jp TEL 03-3508-1216 FAX03-3508-1752

各団体との積極的な連携を図り、慶讃事業の共催によって社会的な周知を促進

12 宗内関係団体連携支援

教勢拡充事業

大衆教化

担当：社会部・教学部

目的概要 長年の実績に基づく綿密な関係性を背景に、各団体の特性を踏まえた開宗850年の慶讃を目的とした事業を共催・推進することによって宗内における機運をさらに高め、対社会的な周知を図ります。本宗関係団体と本宗との共催 (共同事業) に対し、1団体、100万円を上限に助成。事業内容については、各団体の特性を踏まえた上で、本宗担当部署と協議の上で決定します。

対象となる団体

法然上人立教開宗の精神に基づき、宗内外に対して宗綱2条に掲げる目的に寄与する活動を行う次の団体とします。

- | | | | |
|------------|------------------|----------------|---------------|
| ①全国浄土宗青年会 | ②浄土宗寺庭婦人会 | ③浄土宗吉水会 | ④浄土宗保護司会 |
| ⑤浄土宗教誨師会 | ⑥浄土宗保育協会 | ⑦浄土宗平和協会 | ⑧浄土宗芸術家協会 |
| ⑨浄土宗社会福祉協会 | ⑩浄土宗民生委員・児童委員協議会 | | ⑪浄土宗スカウト連合協議会 |
| ⑫浄土宗児童教化連盟 | ⑬浄土宗教学院 | ⑭浄土宗宗立宗門校教育振興会 | |

13 法要開筵

目的概要 法然上人が本宗を開かれてから850年の佳辰を慶び、浄土宗として慶讃法要を勤め、法然上人に対する報恩謝徳とします。

1 一般寺院による慶讃法要

期日は、各ご寺院にて決定されます。各ご寺院からは、事前に「法要奉修届」を提出いただき、本宗からは差定(表白)、祝辞、祝香、「開宗和讃」CDをお送りいたします。住職にはその功績を称え、功績点を付与します。

2 総本山、大本山による慶讃法要

総本山、大本山においては、令和6年の各期日に慶讃法要が奉修されます。本宗からはご勝縁に対して、御祝金を交付するなど祝意を示し、慶讃とします。

日 程	● 総本山知恩院	4月7日～14日	● 大本山清浄華院	4月20日～23日
令和6年	● 大本山増上寺	4月2日～5日	● 大本山善導寺	3月26日
	● 大本山金戒光明寺	4月10日～14日	● 大本山光明寺	10月12日
	● 大本山百萬遍知恩寺	4月20日～22日	● 大本山善光寺大本願	5月9日

3 -①浄土宗開宗850年慶讃法要 ～総本山、大本山お待ち受け法要～

令和5年10月に総本山知恩院において、総本山、大本山お待ち受け法要を奉修することで、ご正当に向けての機運を高めます。この法要期間中には、国指定重要文化財である本宗所有の源智上人造立阿弥陀如来立像を特別に招来し、総本山御影堂に奉安いたします。

法要期間 令和5年10月2日から9日までの8日間

会 所 総本山知恩院



3 -②浄土宗開宗850年慶讃法要 ～一宗法要～

浄土宗としての慶讃法要を、このたびは「一宗法要」と称し、奉修します。総本山知恩院が奉修する慶讃法要の結願法要となります。

期 日 令和6年4月14日

導 師 浄土門主

会 所 総本山知恩院

脇 導 師 宗務総長、宗議会議長

陪 席 大本山法主

地区・教区の特性を活かした取り組みで、一人でも多くの人々の教化を促す

14 地区・教区教化推進支援

目的概要 各地区・教区が企画する開宗850年慶讃事業に対して助成を行い、それぞれの独自性を活かした活動の促進によって檀信徒および一般大衆の教化を促していきます。これらの教化推進事業については、1地区30万円、1教区50万円を上限に助成を実施します。事業の対象を檀信徒または一般大衆に定め、開宗850年を慶讃するための事業を企画し、所定の用紙にて本宗に届けることによって助成金が支給されます。それぞれの地域性や独自性を尊重するために事業内容は「教化推進に資する」とだけ定め、幅広い事業の採用を想定しています。

教区教化推進事業の一環として「一佛両大師軸」(原画:尾張教区名古屋組照明寺住職 前野栄心師)を制作。令和2年3月全教区および海外開教区に配布しました。



15 青少年育成推進

教化伝道事業

檀信徒教化

担当：教学部

目的概要 これまでに実施された宗立宗門校の合同音楽法要は、距離的・時間的な制約によって全学校の全生徒による開催が不可能でした。しかし、この数年の間に状況は大きく変化し、最新のオンライン環境の整備・進化によって各校との多元中継はもとより総本山知恩院の宗祖大師御前と各校の礼拝施設や各教室とを繋いだ全宗立宗門校の「合同音楽法要」が行えるようになりました。現在、本企画では総本山知恩院御影堂にて宗立宗門校の生徒・教職員による音楽法要を開催し、各学校と多次元中継によるオンライン配信を想定しています。次代を担う少年少女が「法然上人の立教開宗の御心」を共有し、限りない感動を分かち合う素晴らしい体験の 때가訪れようとしています。



国内外の浄土宗檀信徒に開宗のみ心を伝え、次代へお念仏のみ教えをつなぐ

16 法灯リレー

教化伝道事業

檀信徒教化

担当：社会部

目的概要 法然上人が修学された青龍寺から法灯をつなぐことによって浄土宗開宗850年の機運を高め、遙かな時を超えて脈々と引き継がれてきたお念仏のありがたさを深く実感していただくことを願って立案されたのが「法灯リレー」です。令和5年5月9日に、全国浄土宗青年会・会員約170名が参加し、比叡山・黒谷青龍寺から法灯を携えて総本山知恩院まで念佛行脚し、知恩院にて「法灯リレー開白法要」が営まれ、各教区・海外開教区の代表に分灯されました。これから法灯は各地の寺院・檀信徒へとリレー形式で届けられていきます。全国、さらに世界へ法灯が広まった証として檀信徒に署名いただいた令和版結縁交名を集め、令和6年5月に結願法要を勤めます。



YouTubeで公開中



比叡山・青龍寺法恩蔵の灯



念佛行脚の道中の様子



法灯リレー開白法要の様子

17 増上寺三大蔵経電子化

教化伝道事業

文化振興

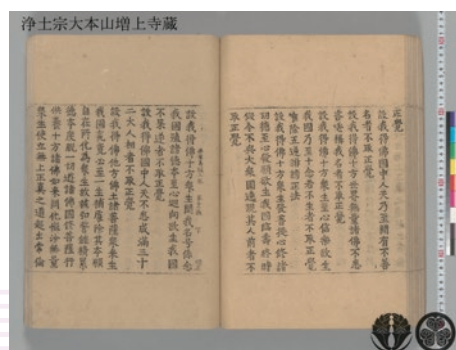
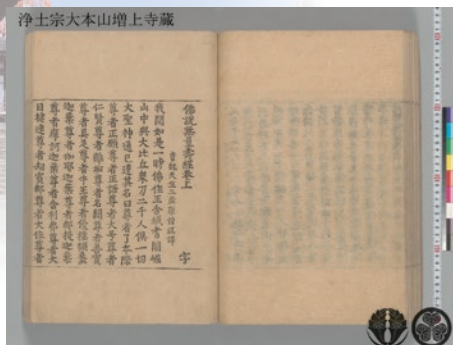
担当：企画調整室

目的概要 大本山増上寺には、17世紀初頭に徳川家康公が全国から収集した高麗版・元版・宋版の三種の大蔵経（三大蔵経）が大切に保存されています。これらは中国・朝鮮の各時代における印刷技術の粋を集めて制作された、漢字文化と印刷文化の至宝です。家康公が増上寺に寄進した約1万2,000点にも及ぶ木版印刷の仏教聖典集成で、現代の仏教研究の基礎になっているものです。この三大蔵経を16万カットの画像として電子化に取り組み、令和6年にインターネット上で公開します。

また、浄土宗と増上寺は、この三大蔵の価値と魅力を多くの方々と共に共有いたしたく、歴史的文書などの保存を目的とするユネスコ「世界の記憶」登録に向け挑戦しています。



経蔵



『浄土宗聖典』の内容を精査、デジタルデータとして公開して僧侶の資質向上に寄与

18 浄土宗聖典電子化

教化伝道事業

文化振興

担当：社会部

目的概要 『浄土宗聖典』（全6巻）は、『選択本願念仏集』奉戴800年を記念し、本宗の基本典籍を取り纏めた書籍として刊行されました。刊行にあたっては、当時の本宗有識者の多大なる尽力のもと編集を実施。全国の本宗寺院にも配布され、大変好評をいただきました。このたび、開宗850年を迎えるにあたり、“本宗叡智の結晶”ともいえる本書を次世代へと引き継ぐべく、電子データ化を行うとともに、インターネット上で公開することで、次世代を担う若手僧侶の活用を促し、その資質向上に貢献することを目的とします。

なお、公開される電子データについては、浄土宗総合研究所の研究員を中心に内容の確認をしたものを利用します。



19 浄土宗高僧名号展

教化伝道事業

文化振興

担当：社会部

目的概要 歴代の浄土門主、大本山御法主、名だたる高僧が揮毫された名号軸。いずれも永遠に残したい至宝であり、文化財です。この機会にどの程度所蔵されているのかといった点でも調査を推し進め、浄土宗内の貴重な歴史的史料にしたいと考えています。

■ 今後の開催予定

第48回浄土宗芸術祭美術展併修

期間 令和5年 12月5日(火)～10日(日)

場所 京都市美術館別館

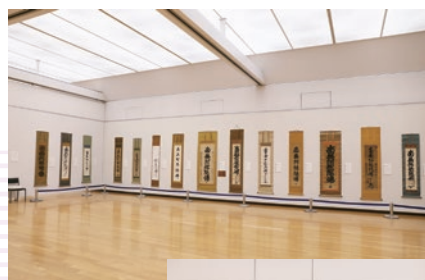
第49回浄土宗芸術祭美術展併修

期間 令和6年 11月26日(火)～12月1日(日)

場所 京都市美術館別館

期間 令和6年 12月17日(火)～22日(日)

場所 セントラルミュージアム銀座



重要文化財として相応しい場所に安置し、多くの方に拝んでいただけるよう公開する

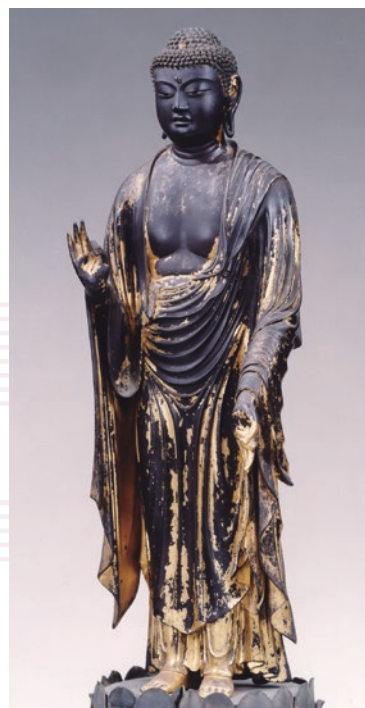
20 源智上人造立阿弥陀如来立像安置

教化伝道事業

文化振興

担当：総務部

目的概要 法然上人の一周忌に勢観房源智上人が造立された国指定重要文化財・阿弥陀如来立像(像内文書含む)は、宗祖法然上人800年大遠忌の時に浄土宗に請来いただき、現在は京都国立博物館に寄託しています。法然上人がすべての人々の救済を願い開かれた浄土宗、そのご恩に報いるため、更に迷い多き人々が仏の大慈悲心により救われることを願い弟子の源智上人が造立された阿弥陀如来をより多くの方に拝んでいただくことを目的とし、阿弥陀如来が将来にわたり安置されるにふさわしい環境、設備等の調査を行った上で、しかるべき場所に安置します。



21 特別展「法然と極楽浄土」

教化伝道事業

文化振興

担当：教学部

目的概要 浄土宗開宗850年を迎え、その歴史と文化をあらためて眺望し、実り多き未来へ思いを馳せる特別展「法然と極楽浄土」を開催します。法然上人による立教開宗から弟子たちによる諸流派の創設。室町時代を経て、徳川將軍家の帰依によって大きく発展を遂げた浄土宗の遙かなる歩みを東京・京都・九州の3国立博物館で彫刻、絵画、古文書などを通じて再訪していただきます。

● 東京展

期間 令和6年 4月16日(火)～6月9日(日)

場所 東京国立博物館 平成館

● 京都展

期間 令和6年 10月8日(火)～12月1日(日)

場所 京都国立博物館 平成知新館

● 福岡展

期間 令和7年 10月7日(火)～11月30日(日)

場所 九州国立博物館

※特別展の詳細は、令和5年10月24日に東京国立博物館で行う報道発表までお待ちください

浄土宗開宗850年公式ホームページをご覧ください!!



浄土宗開宗850年
公式HPを開設しています。
事業の詳しい内容をお伝えしています。



◀ こちらのQRから
ご覧ください



浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

お気軽にお問い合わせください

浄土宗企画調整室

〒605-0062 京都市東山区林下町400-8
TEL 075-525-0481 FAX 075-531-5105
Email kikaku@jodo.or.jp